

教育学部の中村周作教授（社会科教育講座、地理）が、2022年度のアサヒグループ食・生活研究賞を受賞しました。

本賞は、公益財団法人アサヒグループ学術振興財団から直近5年間（2016～20年）に研究助成を受けた研究者の中から選出されるもので、食・生活文化部門では、主に食に関する家政学系食物学、文化人類学、民族学、民俗学、歴史学、地理学などの研究者が含まれます。

選考は、助成による研究成果及びそれが今日の研究にどのように活かされているかを記した文書と主要な業績の審査により行われました。中村教授の研究は、佐賀県を事例に、酒と魚料理を中心とする伝統的飲食文化について地理学の視点から地域別の飲食文化の特徴を類型化し可視化することで、地域伝統の飲食文化を保存・伝承することが、地域振興・地方創生という大きな社会課題の解決の一助となる示唆を与えており、消滅の危機にある伝統的飲食文化を地理学の視点から研究し、その地理的展開の持つ意味を解明した点が高く評価されました。



藤井学部長に授賞報告する中村周作教授（写真右）

【参考情報】

論文掲載誌等：査読論文「佐賀県における伝統的魚介類食の地域差」（2017年）他

**2022年度
アサヒグループ食・生活研究賞、環境・サステナビリティ研究賞
授賞者決定のお知らせ**

2022年度のアサヒグループ食・生活研究賞、環境・サステナビリティ研究賞の授賞者を決定しましたのでお知らせします。

本研究賞は、過去(直近5年間)に助成を実施した研究の中から優れた業績並びに社会に対する貢献を讃え表彰することにより、学術研究の発展に寄与することを目的としています。

また、現在の研究助成者や今後申請を検討している研究者にとって「励み」となることにより、より意義の高い研究成果を上げることを期待します。

なお、4月に授賞式および記念講演の実施を予定しており、その内容は後日同ホームページ上で公開を予定しております。

【食・生活研究賞】

助成年度	申請者	所属	所属	役職	研究テーマ
2015年度	神戸 大朋	京都大学大学院	生命科学研究所	准教授	亜鉛欠乏症のメカニズムの解明—亜鉛不足は、なぜ様々な症状を引き起こすのか—
2016年度	中村 周作	宮崎大学	教育学部	教授	日本における伝統的飲食文化の展開とそれらを活用した地域振興

【環境・サステナビリティ研究賞】

助成年度	申請者	所属	所属	役職	研究テーマ
2016年度	服部 祥平	南京大学	国際同位体効果研究センター	准教授	酸素同位体異常を指標に用いた大気酸化力の復元
2018年度	佐々木 啓明	京都大学大学院	経済学研究所	教授	人口成長と枯渇資源が経済成長に与える影響についての理論分析および実証分析